

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 6 月 7 日 (2012.6.7)

【公表番号】特表 2011-525942 (P2011-525942A)

【公表日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2011-039

【出願番号】特願 2011-516365 (P2011-516365)

【国際特許分類】

C 0 8 F 8/00 (2006.01)

B 0 1 J 20/281 (2006.01)

B 0 1 D 15/08 (2006.01)

B 0 1 J 20/30 (2006.01)

C 0 8 F 26/06 (2006.01)

C 0 8 F 20/58 (2006.01)

C 0 8 F 290/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 8/00

B 0 1 J 20/26 L

B 0 1 D 15/08

B 0 1 J 20/30

C 0 8 F 26/06

C 0 8 F 20/58

C 0 8 F 290/12

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 4 月 10 日 (2012.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I V)

$SS - (CO) - NH - C(R^1)_2 - (CH_2)_p - (CO) - Q - Y^1 - Q - (CO) - CR^2U^2 - CH_2 - U^1$

(I V)

のグラフト化支持体を含む物品であって、

式中、

SS は、固体支持体を含み、

p は、0 又は 1 に等しい整数であり、

それぞれの R^1 は、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、又はアラルキルからそれぞれ独立して選択され、

それぞれの Q は、オキシ、チオ、又は $-NR^3 -$ (R^3 は水素、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、又はアラルキルである) から選択される、独立した二価基であり、

Y^1 は、アルキレン、ヘテロアルキレン、アリーレン、又はそれらの組み合わせを含む、第 1 の連結基であり、

それぞれの R^2 は、独立して、水素又はアルキルであり、

U^1 は、式 $-CR^2(Y^2Z^1) - CH_2 -$ の少なくとも 1 つの二価モノマー単位を含

み、

U^2 は水素であるか、又は式 $-CR^2(Y^2Z^1)-CH_2-$ の少なくとも1つの二価モノマー単位を含み、

Y^2 は、アルキレン、ヘテロアルキレン、アリーレン、又はそれらの組み合わせを含む、単結合又は二価基から選択される第2の連結基であり、

Z^1 は、(1) 酸性基若しくはその塩、(2) アミノ基若しくはその塩、(3) ヒドロキシル基、(4) アズラクトン基若しくは前記アズラクトン基の前駆体、(5) グリシジル基、又は(6) それらの組み合わせから選択される官能基である、

物品。

【請求項2】

式(V)

$SS-(CO)-NH-C(R^1)_2-(CH_2)_p-(CO)-Q-Y^1-Q-(CO)-CR^2U^4-CH_2-U^3$

(V)

の修飾されたグラフト化支持体を含む物品であって、

式中、

SS は、固体支持体を含み、

p は、0又は1に等しい整数であり、

それぞれの R^1 は、それぞれ独立して、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、又はアラルキルから選択され、

Y^1 は、アルキレン、ヘテロアルキレン、アリーレン、又はそれらの組み合わせを含む、第1の連結基であり、

それぞれの Q は、オキシ、チオ、又は $-NR^3-$ (R^3 は水素、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、又はアラルキルである) から選択される、独立した二価基であり、

それぞれの R^2 は、独立して、水素又はアルキルであり、

U^3 は、式 $CR^2(Y^2L-T)-CH_2-$ の少なくとも1つの二価モノマー単位を含み、

Y^2 は、アルキレン、ヘテロアルキレン、アリーレン、又はそれらの組み合わせを含む、単結合又は二価基から選択される、第2の連結基であり、

U^4 は、式 $CR^2(Y^2L-T)-CH_2-$ の少なくとも1つの二価モノマー単位を含み、

U^4 は、水素であるか、又は式 $CR^2(Y^2L-T)-CH_2-$ の少なくとも1つの二価モノマー単位を含み、

L は、基 Z^1 を前記修飾剤の修飾基 A と反応させることによって形成される、結合基であり、

Z^1 は、(1) 酸性基若しくはその塩、(2) アミノ基若しくはその塩、(3) ヒドロキシル基、(4) アズラクトン基若しくは前記アズラクトン基の前駆体、(5) グリシジル基、又は(6) それらの組み合わせから選択される、官能基であり、

T は、修飾剤 $A-T$ の残余であり、前記修飾基 A を引いた、前記修飾剤 $A-T$ に等しい、

物品。